

令和2年度 地方創生関係交付金事業

地方創生関係交付金の種類			事業目的・概要							
地方創生推進交付金			若狭町の地域資源を活かした新たな里山里海湖ビジネスの創出をめざした通年の講座を開催。 「関係人口」が外部の視点から、ビジネス化できる地域資源を掘り起し、地元の受講生による新たな生業づくりをサポートする。							
地域再生計画名										
「新ふるさと県民」の地域貢献促進事業										
No.	交付金対象事業名称									
1	「新ふるさと県民」の地域貢献促進事業									
実施事業名			総事業費	交付金対象 経費	財源内訳			実施内容		
					交付金	その他	一般財源			
1	若狭ソーシャルビジネスカレッジ		2,449,700	1,224,850	1,224,850		1,224,850	一泊二日の講座を年間を通じて開催。フィールドワークやワークショップ等によって、若狭町の地域課題や資源を調査・把握する。地元で活躍する人物やUIターンの若者等の経験談を通し各受講生の経験やスキルの活かせる生業を検討する。		
2										
合計			2,449,700	1,224,850	1,224,850	0	1,224,850			
重要業績評価指標（KPI）			単位	事業開始前	KPI	R1年度	R2年度	R3年度		増加分累計
1	ソーシャルビジネスの創出数		件	0	目標値	1	1	2		4
					実績値	1	1			2
2					目標値					
					実績値					
3					目標値					
					実績値					
事業効果		地方創生に非常に効果があった。								
今後の方針		東京、大阪のふるさと回帰センターでのチラシの配架及びWEB等によるPR活動を行い、新規受講生者の発掘を行う。 若狭町の豊かな地域資源を活用し、フィールドワークやワークショップを通じて地域の課題や魅力を調査・分析し、ビジネスの創出に繋げていく。								
評価		県外の受講生を含む10人が若狭町でソーシャルビジネスカレッジを受講したことにより、関係人口の創出に寄与している。また、若狭町の課題をテーマとしたビジネスを提案、ビジネス化しており、事業の効果が出ている。								

令和2年度 地方創生関係交付金事業

地方創生関係交付金の種類				事業目的・概要								
地方創生拠点整備交付金				レインボーライン山頂公園は、美浜町・若狭町にとっては共通かつ随一の観光スポットであるが、1991年度の104万人をピークに年々入込客数が減少しており、2017年度の入込客数は約28万人となっている。入込客数の減少は、山頂公園だけでなく、周辺の観光施設や宿泊施設の利用者数の減少につながり、地域経済に大きな影響を及ぼしている。山頂公園の課題としては、風雨をしのぐ建築物等が少なく、気温や天候によって観光客が大きく落ち込むこと、また、くつろげる場所が少ないため滞在時間が短く、訪問者一人あたりの売店等での消費額も少ないことが挙げられる。そこで、2023年の北陸新幹線県内開業を控え、今後福井を訪れる観光客が増えるこの機会に、レインボーライン山頂公園からの景観を生かした、展望建屋、山頂カフェ、山麓レストランなど全天候型・滞在型施設を整備し、山頂公園を通年で人々が集う観光交流の拠点とするとともに、カフェやレストランにおける消費や滞在時間の延長につなげる。また、この山頂公園を拠点として、両町をはじめ福井県内の観光施設や文化施設との連携を強化して観光周遊ルートを再構築するとともに、両町や福井県、近隣自治体と連携したプロモーション活動を積極的に行い、地域全体への誘客を図る。さらに、観光客の周遊性の向上や両町での滞在時間延長を図り、地元の漁家民宿をはじめとする宿泊施設利用者の増加など地元消費の拡大につなげ、福井県全体の賑わいと交流人口の増加を目指す。								
地域再生計画名												
三方五湖に浮かぶ天空テラス整備計画～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～												
No.	交付金対象事業名称											
1	三方五湖に浮かぶ天空テラス整備計画～自然・人・文化をつなぐ天空の架け橋～											
実施事業名				総事業費	交付金対象 経費	財源内訳			実施内容			
						交付金	その他	一般財源				
1	三方五湖に浮かぶ天空テラス整備事業			152,635,950	149,062,393	74,531,196		78,104,754	山頂公園全体を大きく4つのエリア（中央エリア：山頂カフェ・トイレ・五湖テラス、東エリア：美浜展望建屋、西エリア：若狭展望建屋・茶屋テラス、山麓エリア：山麓レストラン）に分けて、それぞれ特徴ある空間整備を行う。本事業による整備主体は㈱レインボーラインであるが、㈱レインボーラインへの出資者でもある美浜町と若狭町で折半して整備費を補助する。整備後についても、美浜町・若狭町と㈱レインボーラインが連携し、山頂公園を活用した誘客拡大や地産地消の促進等による農業・漁業の活性化に取り組む。			
2												
合計				152,635,950	149,062,393	74,531,196	0	78,104,754				
重要業績評価指標（KPI）				単位	事業開始前	KPI	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	増加分累計
1	整備する山頂カフェおよび山麓レストランの売上			千円	13,250	目標値	0	10,000	5,000	5,000	5,000	25,000
						実績値	0	26,801				26,801
2	山頂カフェや展望建屋を整備するレインボーライン山頂公園の入園者数			人	125,430	目標値	0	40,000	30,000	30,000	30,000	130,000
						実績値	0	53,392				53,392
3						目標値						
						実績値						
事業効果		地方創生に非常に効果があった。										
今後の方針		増加する観光客を受け入れられるだけの施設・設備が不足、さらには老朽化しており、滞在時間の延長と快適な空間整備を図るため、令和3年度にはレストラン棟、売店・トイレ棟等の整備を進めている。北陸新幹線敦賀駅開業を控え、三方五湖エリアの観光の核となるレインボーライン山頂公園が担う役割は大きく、ソフト面の充実と合わせて、さらなる魅力アップを図っていく。										
評価		コロナ禍でありながら、順調に売上及び入園者数を伸ばしており、事業の効果が顕著に出ている。 令和3年度には、第2期工事が施工されることから、更なる地域活性化に期待する。										